

第2回浜田市総合振興計画審議会 会議録

日時 令和3年8月4日(水)

午後6時30分～午後8時37分

場所 浜田市総合福祉センター(2階)会議室

[進行/会長]

◆ 開会	
会長	<p>定刻となりましたので、ただいまから第2回浜田市総合振興計画審議会を開催させていただきます。本日はお忙しいところ、またお暑いところをご出席いただきまして誠にありがとうございます。第1回審議会は去る7月19日に開催をしたところでございますが、そこでは後期基本計画について諮問を当審議会に対して頂戴いたしまして、後期基本計画の策定方針について、それから人口の状況について、そして前期基本計画等の進捗状況について説明をしていただいたところでございます。</p> <p>本日は、最初に前回の説明を踏まえまして、総合振興計画など3つの計画に関する2020年度の進捗状況について意見交換を行い、その後、レジュメにございますとおり後期基本計画の関係について説明をいただき、意見交換していく予定としております。</p> <p>本日は午後8時30分の終了を予定しておりますので、それまでの間有効に活用いただきまして委員の皆様のご意見の忌憚りの無いご意見をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは本日の委員の出席状況等を事務局からお知らせ願います。あわせて配布資料の確認をしていただければと思います。</p>
政策企画課長	<p>事務局の政策企画課長の部屋でございます。</p> <p>私のほうから本日の委員の出席状況並びに配布資料の確認等をさせていただきます。</p> <p>本日お配りさせていただいておりますレジュメの次にあります審議会の委員名簿をご覧くださいと思います。本日の出席状況をご報告させていただく前に、前回第1回のところでご欠席であった委員のご紹介と、前回の審議会のなかで協働のまちづくりに関する計画の検討部会を設けるといふことにさせていただいて了承いただいたところですが、審議会委員にその検討部会から会長1名に出席いただくことにしております。その検討部会で会長を決定していただきましたので、本日その会長にご出席をいただいております。そうしたことからお二方の委員のご紹介をさせていただきます。</p> <p>まず名簿の上から3番目にございます浜田商工会議所会頭の樋山陽介委員でございます。</p> <p>続いて、名簿の下から5番目になりますが、先ほど申しました「協働のまちづくり検討部会」の会長であります長畑実委員でございます。</p> <p>そうしますと本日ご出席の委員のご確認でございます。本日委員の森脇様のご欠席ということでご報告しております。また石中央商工会の田中委員は遅れて来られると伺っております。そうしたことから本日出席委員24名、欠席委員1名ということで審議会の会議の開催要件であります過半数を満たしているということをご報告いたします。</p> <p>続いて資料の確認をいただければと思います。本日配布させていただいた資料</p>

	<p>でございます。レジュメと今見ていただいております委員名簿、それと資料1といたしまして「総合振興計画、定住自立圏共生ビジョン、総合戦略」審議会委員からのご意見及び浜田市の考え方という資料、資料2といたしまして総合振興計画後期基本計画の構成（案）、続いて資料3浜田市の人口推計について、資料4の第2次浜田市総合振興計画後期基本計画の現状と課題素案、続いて中高生の地域や将来意識に関するアンケートの結果報告書、続いて転出者及び転入者のアンケート結果報告書、続いて後期基本計画案の作成の流れ、最後に現状と課題に対する皆さまからのご意見についてを記載していただく様式、以上の資料をご用意させていただきます。</p> <p>資料の確認については以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは議事進行させていただきます。円滑な議事進行に皆様ご協力いただきますようお願いいたします。</p>
1 協議事項	
(1) 第2次浜田市総合振興計画前期基本計画等の進捗状況について	
会長	<p>前回の説明も踏まえまして、ご意見を伺ってまいりたいと思います。流れといたしましては、事前に事務局に意見を寄せていただいておりますので、それについて浜田市の考え方を説明いただいて、その上でその内容に関するご質問ご意見がございましたら伺いたいと思っております。その後全体を通して意見交換ができればと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>まずは事務局からご説明をいただければと思います。</p>
企画係長	<p>政策企画課企画係の道山です。私のほうから事前に前期基本計画の進捗状況について意見をいただいておりますので、いただいたご意見について浜田市の考え方のほう要点を絞ってご説明させていただきたいと思っております。</p>
資料1説明	<p>資料1をご覧くださいながら説明させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>1 頁目からでございます。総合振興計画について産業経済部門にご意見等をいただいております。</p> <p>まず1番目、「企業誘致を行う場合は、韓国と取引している企業が良いのではないか。」ということでご意見をいただいております。それにつきましては「韓国をはじめ貿易をしている企業について、関係機関と連携して企業誘致に努めてまいります。」ということでご回答させていただきます。</p> <p>続きまして2番目、「コロナ禍に影響している点で、新たな施策（救済策）は宿泊や観光分野について検討されていますか。」ということでご質問をいただいております。「新型コロナウイルス感染拡大による支援につきましてはその都度全体的な状況判断が必要になることから後期計画には記載しておりません。今後の感染拡大状況ですとか、国・県の支援策等勘案しながら必要な支援を検討してまいります。」ということでご回答させていただきます。</p> <p>3番目ですが、新規学卒地元就職者数の増加に関するご意見でございます。「市内企業が大卒者を雇用したいのかという点も含めて目標を設定してはどうか。」というご意見でございます。「個別の企業ニーズを都度把握し、市として計画目標を設定することは難しい。」ということでご回答させていただきますが、引き続き情報収集・発信に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>続きまして健康福祉部門でございます。4番目、「健康づくりの推進において、</p>

健康寿命の延伸の為に取組が必要である。浜田市の目標をしっかりと掲げてほしい。」ということでご意見をいただいております。「目標につきましては県平均を目標に掲げているところです。健康寿命延伸のためには『はまだ健康プロジェクト10か年事業』として、目標に向かって市民や関係機関と連携して計画に取り組む。」と回答しております。

続きまして5番目です。「がん対策について、タバコの禁煙者を増やすことを掲げてほしい。またがん検診の受診率を上げる更なる取組が必要。」ということでご意見いただいております。「これまでも禁煙者を増やす取組をしておりますが、引き続き継続してまいりたい。またがん検診の受診率向上を目指す取組については、まだまだ周知が不十分ですので更なる取組を進めてまいります。」ということで回答させていただきます。

続きまして6番目です。「医師確保施策の継続、更なる施策の検討をお願いします。また障がい者に対する支援について内容を確認・検証することで充実を図ることが必要と考えます。」ということでご意見をいただいております。「新たな医師確保につきましては関係機関の事業連携のほか、今年度から島根大学の附属病院内に総合診療医センターが新設され浜田市国保診療所連合体医師1名を週1回派遣し事業実施に協力しているところでございます。」と回答しております。

続きまして7番目です。「包括支援センター業務が委託となり『行政と委託先の継続的な連携、協力』とあるが、どのようなことができると思われるか。」という質問をいただいております。「委託後につきましては高齢者からの総合相談業務等は受託事業所が行うこととなりますが、必要に応じて市の担当課が連携して対応することができることから、今まで以上に迅速かつ手厚い支援を行うことも可能と考えております。」と回答しております。

続きまして教育文化部門になります。8番目です。「『自分には良いところがあると思っている子どもの割合』に関する項目で、これについて新たな取組が必要ではないか。」ということでご意見をいただいております。「新たな取組といたしましては相互評価により自己肯定感を高める取組を全小中学校で行っております。今後もこの取組を強化してまいります。また、地域、子ども、保護者に対しては施策を実施し、必要な取組を実施していく。」と回答しております。

続きまして9番目です。「『～と思う子どもの割合の増加』という統計結果を判断材料とするのはとてもあいまいである。また読書の推進についても図書館利用者の増減だけで判断できない。また学校以外で行える地域の学習支援の取組があればいいのではないか。」というところでご意見をいただいております。「進捗状況の目安につきましては、行動の尺度となる目標設定も検討していきたいと考えています。また読書につきましては図書館利用者の増減だけで判断することは考えておりませんが、今後も各種イベントなどの開催を通じ読書活動全般の推進に取り組んでまいります。また学校以外の学習支援の場としましてはまちづくりセンター等を拠点としまして、放課後子ども教室や地域学習支援事業を行っております。」と回答しております。

続きまして10番目です。「人権教育につきましては教育現場だけでなく社会教育の立場からも市民の理解と協力が得られる施策が求められている。また給食の意義、子どもの貧困、こういったことが行政の積極的関与により福祉分野との連携強化をお願いします。」というご意見をいただいております。「人権教育につきましては、学校教育とは別に社会教育としての人権教育が必要と考えております。また経済的に困窮している児童生徒に対して給食費や学用品費を支援する就学援

助を行っておるところでございます。」と回答しております。

続きまして生活基盤部門になります。11 番目です。「汚水処理人口普及率の増加は全国的にみてもレベルが低い。現在の下水道整備計画も少なくとも目標年度の供用開始が遅滞なく実施できるよう対応をいただきたい。」ということでご意見をいただいております。「下水道につきましては、現在市役所、浜田駅前周辺を中心に順次供用開始を目指して取り組んでいるところでございます。また供用開始時期が遅れることのないよう整備を進めてまいります。」と回答しております。

続いて 12 番目です。「これからの町づくり計画に空き家対策も考慮していく必要がある。」ということでご意見をいただいております。「危険な空き家に関する施策につきましては対策を後期基本計画に記載し、実施していきたいと考えております。また利用可能な空き家につきましては空き家バンクへの登録を促す取組を継続することが必要であるということを考えております。」と回答しております。

続きまして防災・防犯・消防部門です。13 番目です。「災害時における支援体制、避難所の整備が急務である。」ということでご意見をいただいております。「関係各課と協力のうえ、現在避難所の設置や人員の配置、資機材整備について検討を開始しているところでございます。」と回答しております。

続きまして 14 番目です。「自主防災組織についてしっかりとした取組をつくることで災害に強いまちになるのでお願いしたい。」というご意見をいただいております。「自主防災組織未組織地域への声かけや市民の防災への高揚を図って取り組んでまいりたい。」ということで回答しております。

続きまして地域振興部門です。15 番目です。「地区まちづくりにつきましては立ち上げありきではなく、持続可能な町づくりになるよう、支援協力をしていただきたい。」というご意見をいただいております。「地区まちづくり推進委員会につきましてはそれぞれの地域の実情に応じて人的・財政的支援を行っており、引き続き持続可能なまちづくりが展開されるよう努めてまいりたい。」と回答しております。

続きまして 16 番目です。「人権研修会等につきましては市としての『足元』を固めていくことが必要ではないか。」ということでご意見をいただいております。それにつきましては「人権研修を受講できる機会の確保と手法については検討してまいりたい。」という回答しております。

続きまして自治区別計画です。17 番目です。「浜田地域が地域住民の横のつながりをもっと推進していきたい。」ということでご意見をいただいております。「浜田地域では地域内の話し合いの場づくりなど地域活動の活発化に向けた取組を進めてまいりたい。」と回答させていただいております。

続きまして全体に対するご意見ですけれども、「進捗度が低い項目について、コロナの影響が少ないと思われる目標については方策の見直しをしていくことが必要ではないか。」ということでご意見をいただいております。そちらにつきましては「前期基本計画は今年度が最終年度であることから前期基本計画の目標につきましては見直しを行わず後期基本計画の策定を行う上で新型コロナウイルスの影響を踏まえた施策の見直しを行っていきたい。」と回答しております。

続きまして 19 番目と 20 番目、こちら似たご意見ですので一括でご説明いたします。「効果のありそうな施策は引継ぎ、あまり効果のないものはやめたほうがよい。また目標値を下方修正することはないのか。」というご意見をいただいております。「施策の内容を踏まえまして、ご意見のとおり引き継ぐもの、また新たな取

組を行うものは追加をして検討していきたいと思っております。また下方修正につきましても、こちらの内容が議会の議決を受けていることから目標値は変えず取組を進めていきたい。」と回答しております。

続きまして7頁目です。定住自立圏共生ビジョンについてとなりますが、21番目「子育て世代、介護者等の家族を支える仕組みの創設（併設）が求められている。」ということでご意見をいただいております。「『地域共生社会』の実現に向けて包括的、重層的な支援体制づくりに努めてまいります。」と回答させていただきます。

続きまして22番目です。「診療所の常勤医師数、また関係機関との連携や実習の受入れで確保の見込みがないのであれば、今後の取組内容を変えていく必要があるのではないか。」ということでご意見をいただいております。「関係機関の連携では、後期研修の研修先と現在調整中です。実習の受入れにつきましては平成21年から浜田市中山間地域包括ケア研修センターで医師の育成の取組を進めています。」ということで回答しております。

続きまして23番目です。「放課後児童クラブにつきまして利用者の子どもにアンケートなどをもって声を取り入れているか。また、スタッフの研修の有無、運営ガイドラインについて」意見をいただいております。「利用される子どもさんの声は活動内容に取り入れる等しております。スタッフの研修につきましては放課後児童クラブ認定資格研修を積極的に受講するよう指示をしているところでございます。運営ガイドラインにつきましては『放課後児童クラブ運営指針』に沿いまして全クラブが運営を行っております。」と回答しております。

続きまして24番目です。「地域公共交通について新たな運行計画とはどのような計画か。」というご質問をいただいております。「地域公共交通計画につきましては浜田市生活路線バスや予約型乗合タクシーの運行に係る計画全般のことを指しております。地域の状況や実態に即した運行計画を2、3年ごとに見直しを行っているものでございます。」と回答しております。

続きまして25番目です。「シングルペアレント就労人材育成事業は終了しておりますが、現在何人の方が浜田に就労定住されているのか。」というご質問をいただいております。「令和3年7月31日現在で、10世帯25人が定着しています。なお10人中9人が研修先の事業所で引き続き就労をしています。」と回答しております。

続きまして26番目です。「Iターン者が何を求めて移住したのか、そのきっかけや理由の統計を活かしてはどうか。」というご意見をいただいております。「過去3年にかけてIターンした方にアンケート調査を実施しております。こういったアンケート結果を参考とし、今後の定住促進策につなげていきたいと考えております。」と回答しております。

続きまして27番目です。「浜田で就職してもらうには浜田に愛着を持ってもらうことが必要であるから、学生と地域住民が関わる機会を多く作る事が大切だと考える。」ということでご意見をいただいております。「大学等高等教育機関と連携したまちづくり推進事業補助金の交付や県大生が商店街等でパフォーマンス等を行う『まちなかキャンパス』を実施しまして、学生と市民の交流促進に取り組んでいるところでございます。」という回答としております。

続きまして28番目でございます。「成果指標が『空き家バンクの登録件数』ではなく実際の『売買成立件数』でなければ効果の確認にはならないのではないかと思っております。」とご意見をいただいております。「この取組につきましては後期基

本計画におきまして、登録件数に加えて契約成立件数等も指標とすることを検討していきたい。」と回答しております。

続きまして全体を通して 29 番目です。『『住みたくなる浜田』、『魅力ある浜田』について市民のニーズを把握する必要があるのでは。』というご意見をいただいております。「市民のニーズの把握につきましては先般開催しました『元気な浜田づくり市民委員会』や、後ほど説明する現状と課題について各部署において団体へのヒアリングを実施し課題や要望の把握を行っているところでございます。」と回答しております。

続きまして 30 番目です。「後継者不足で廃業していくケースが後を絶たない。IターンやUターンの人に後継者となっていただくためのマッチングや定着するまでの財政支援等の制度があればいいのでは。」ということでご意見をいただいております。「現在地域おこし協力隊制度を活用しまして 2 名の方が事業継承のマッチングに取り組んでいるところでございます。状況に応じて支援策を検討していきたい。」と回答しております。

続きまして総合戦略に関する部分です。31 番目です。『『企業立地優遇制度による雇用創出数』のことに、土地がない状況を打破できる要素や空き家や空き店舗を利用した企業ブースの活用、SNS やホームページなどで発信し続けることで若者層にアピールできるのではないか。』というご意見をいただいております。「土地については遊休地、遊休施設を積極的に活用した企業誘致を推進してまいりたいと考えております。また定住情報サイトの作成を行う予定としておりますのでより効果的な情報発信に努めてまいりたい。」と回答しております。

続きまして 32 番目です。「働き手の確保、養成につきまして先駆的な取組を行っている自治体を参考に後期基本計画に反映していただきたい。」というご意見をいただいております。「参考となる先進事例があれば反映を検討していきたい。」と回答しております。

続きまして 33 番目です。「新規学卒地元就職者数について、オンラインで地元企業について詳しく知ることができればいい。」というご意見をいただいております。「企業の意向を踏まえ検討していきたい。」と回答しております。

続きまして 34 番目です。「子育て世代が感じている声を聞く機会があるか。」というご質問をいただいております。「声を聞く機会といたしましては、乳幼児健康診査時、赤ちゃん訪問時や子育て支援センターを利用された保護者などから聞く機会を設けている。」と回答しております。

続きまして 35 番目です。「出生数が直接的な『子育て支援』だけでは結果が出ない、子育て世代の雇用環境を含め、複合的に問題を捉えるべきではないか。」ということでご意見をいただいております。「子育て世代の雇用環境も含めた複合的な問題であると考えております。そのため、企業等従業員の出会い、結婚、出産子育てを積極的に支援する取組を行う事業所等を「出会い・結婚・出産・子育て応援事業所」として認定させていただき、補助をするという制度を開始することとしております。」と回答しております。

続きまして 36 番目です。「地域の医療機関として浜田医療センターの医師の確保、機能の有効活用を一層図っていただきたい。」というご意見をいただいております。関係機関と連携いたしまして浜田市の医療を守るため継続的に取り組みたい。」と回答しております。

続きまして 37 番目です。「少子化対策として産後の職場復帰の考慮、また保育料の問題も課題ではないか。」というご意見をいただいております。「年度途中で

の0歳児の受入体制を整備している保育所に対して補助を行うなど職場復帰しやすい環境づくりに努めているところでございます。また子育て世代の経済的負担の軽減については第3子以降は保育料と給食費を無料化等含めて取り組んでいるところでございます。」と回答しております。

続きまして38番目です。「認可保育所の定員数について、人材の確保、出生数の減少も含めて目標値を設定いただきたい。」というご意見をいただいております。「保育士の資格を取得しようとする本市出身の学生に対しまして、就学資金を貸し付け、その就学を支援することにより、市内の保育士の確保に努めているところでございます。」と回答しております。

続きまして39番目です。「空き家バンクの売買成立数を知りたいということ。また婚活イベントを通して結婚された数もわかると効果があったのかわかりやすい。」ということでご意見をいただいております。「令和2年度の空き家バンク入居物件数53件のうち売買物件数は32件です。後期基本計画では契約成立件数も入れることを検討したいと考えております。また婚活イベントの成婚された件数は2件です。」と回答しております。

続きまして40番目です。「趣旨や基本目標にある『しごとの創生』『地方における安定した雇用を創出する』といった言葉や『相応の賃金、安定した雇用形態、やりがいのあるしごと』ということがよくわからない。」ということでご質問をいただいております。「こちらの言葉につきましては国の総合戦略に記載されている言葉となっております。総合戦略の趣旨については国、県の戦略を基に策定することとなっておりますのでその内容を記載したものということになっております。浜田市のほうではそういった内容につきましては基本目標を『産業振興と企業立地による雇用の創出』と表現して取組を進めているところでございます。」と回答しております。

続きまして41番目です。「これまでにはない情報発信を考えてはどうか。」ということでご意見をいただいております。これまで浜田市行政情報番組（浜っ子タイムズ）での周知をしておりましたが、情報発信の方法につきましては今後さらに検討していく必要があると考えております。」と回答しております。

続きまして42番目です。「障がい者支援について隣接する江津市と歩調を合わせて横断的に取組をしてはどうか、また高齢者福祉と児童福祉の協働も今後必要。」ということでご意見をいただいております。「今年度から浜田市基幹相談支援センターを新たに開設しております。今後は2つの基幹相談支援センターと浜田市と江津市とで更なる連携を図って既存の分野・制度の枠を超えた、横断的・重層的な支援の提供について検討する必要があると考えております。」と回答しております。

続きまして43番目です。「若者世代を引き留める施策の一つに浜田にUIターンされている人に浜田の良い所（魅力）の情報を流すのも策ではないか。」ということでご意見をいただいております。先ほどもお話ししましたが「令和3年度中に移住定住情報サイトを刷新したいと考えております。移住した方への取材や座談会等を実施しまして魅力等の情報を発信すべく、掲載の準備を進めておるところでございます。」と答えております。

続きまして44番目です。「若い人の意見・想いを寄せる場作りも必要と思う。」ということでご意見をいただいております。「今年度から地域政策部のほうにおきまして若者会議というのを設置しております。そちらのほうで若者の意見を反映した施策になるよう取組を進めているところでございます。」と回答しております。

	<p>す。</p> <p>続きまして 45 番目です。「家庭教育支援を小学校、幼稚園、保育園の保護者活動に取り入れてほしい。」ということでご意見をいただいております。「委員ご指摘の課題を解決していくためには息の長い取組が必要であり、引き続き HOOP! を実施するとともに周知にも力を入れていきたい。」と回答しております。</p> <p>続きまして 46 番目です。「若者の力が必要だと思う。地元に残ってもらうよりは、一度県外から地元をみたり、外からの受入れを強化したりするべきである。また交通やネット環境の整備、田舎に来るだけの受入れ施策を強化したほうが良い。」ということでご意見をいただいております。先ほどもご説明しましたが「当市も若者の力が必要だと考えておりそういったことを施策に反映するため先ほど示した若者会議を発足しております。若者が暮らしやすいまちづくりに向けた新たな施策について話し合いをしているところです。」と回答しております。</p> <p>続きまして 47 番目です。「景観等の保全計画や利用計画、外ノ浦につきまして日本遺産の指定を受けておりますが、景観等の保全計画や利用計画があるのか、また検潮所が残っているが撤去するのではなく、しかるべき場所に移築し活用を図る必要がある。」といったご意見をいただいております。「外ノ浦につきましては『浜田市景観計画』に盛り込まれている。また検潮所につきましては歴史的意義から当面現在地において文化財係が調査を続けております。」ということでご回答させていただきます。</p> <p>最後 48 番目でございます。「意見集約の依頼が遅い。」ということでご意見をいただいております。「大変申し訳なく思っております。次回からは余裕を持ってご案内するように努めてまいりますのでご対応のほどよろしく申し上げます。」と回答しております。</p> <p>資料 1 の説明につきましては以上でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。一括して説明をいただきましたのでなかなか理解が深まらない部分があるかもしれません。まずは資料 1 について意見交換をさせてもらいたいと思います。特にご意見を提出いただいた方から重ねてのご意見ご質問を、他の方の発言を妨げるものではありませんが、皮切りということでご意見を出された方からの重ねての質問から始めるのがよろしいのではないかなと思うのでいかがでしょうか。</p> <p>(なし)</p> <p>特に枠を設けなかったほうがよかったかもしれませんね。なかなか意見集約の時間が短かったということでご意見も頂戴しておるようですが、なかなか意見を出せなかったという方もいるかもしれません。新たな事柄も含めて自由にご発言いただければと思います。いかがでしょうか。</p> <p>(なし)</p> <p>今議論させていただいている事柄は前期基本計画等の進捗状況が基本的な主題としたものではあります。資料 1 をご覧になっていただければわかりますとおり、後期基本計画に向けた様々な意見がすでに出てきております。あまり限定をかけずに意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(なし)</p> <p>事務局に確認させてください。この進捗状況についての取りまとめの仕方を念のため確認しておきたいと思っております。最終的にはホームページに公表されると認識しておりますが、その辺りのことをご説明いただければと思います。</p>

政策企画課長	この資料1でお示しさせていただいたご意見及びそれに関する浜田市の考え方につきましては会長がおっしゃられましたように、事前にいただいたご意見についての回答はこのような形で回答させていただきます。また本日追加のご意見等あったものにつきましても後日その回答等合わせまして審議会の会議の結果をホームページで公表するということになっておりますのでそちらのほうで掲載等させていただきますという予定とさせていただきます。
会長	第1回の資料を総合振興計画前期基本計画の掲載目標の進捗状況であったりそれに先立って第1回の資料8で第2次浜田市総合振興計画前期基本計画の進捗評価についてというものがまとめてホームページに掲載されるという認識をしております。それでいいですね。ですので資料8も含めてここは直したほうがいいとかいろいろご意見あるかと思しますので出していただければと思いますがいかがでしょうか。 (なし)
樋山委員	なかなか意見も出ないようですので協議事項の(1)はまた後ほどということにして(2)に入っていたほうがよろしいのではないかと思います。
会長	ありがとうございます。ご助言を頂戴いたしました。 事務局はそれでよろしいですか。 そうしますと議事は先に進めさせていただきまして後ほどお気づきの点があればご発言をいただければと思います。
(2) 浜田市総合振興計画後期基本計画の構成(案)について	
会長	協議事項の(2) 浜田市総合振興計画後期基本計画の構成(案)についてということで事務局から説明をいただければと思います。
企画係長 資料2説明	引き続きまして、私のほうから説明させていただきたいと思っております。 資料2のA3の横長の表を見ながらご説明させていただきますので、ご覧いただきたいと思っております。 浜田市総合振興計画後期基本計画の構成(案)ということでお示しをさせていただきます。左側は前期基本計画の構成をあげさせていただきます。それに対しまして右側は今後策定いたします後期基本計画の構成(案)ということでお示しをさせていただきます。 まず上のほうから。巻頭につきましては市長のあいさつ、アクセス等、前期基本計画同様対応していきたいと考えております。 続いて序論ですけれども、総合振興計画策定の趣旨、計画の構成についてはそのまま記載をさせていただきます。 3番で新たに前期基本計画の振り返りというところで項目を追加したいと考えております。この度後期基本計画ということですので前期基本計画の取組がどうであったかということ振り返りまして、後期基本計画をどう作っていったかということでお示ししたいと考えております。書いてありますのは簡単なところではありますが、前期基本計画では人口減少が計画以上に進んだということが大きな課題であるということ今浜田市のほうでは考えております。後期基本計画につきましては出生数や若者の数というところに重点を置きまして、人口の減少幅を小さくしていきたいというところで記載していきたいと思っております。また推計のところなんですけれども、国勢調査を基に人口ビジョン等を作っておりますが、国勢調査は5年ごとに実施されるため出生数などの数字が毎年把握するのが難しいと思っておりますので、そういった点も含めまして人口ビジョンの策定の仕

方というのを考えていかなければならないと考えております。

4 番目の浜田市を取り巻く情勢の変化というのはそのまま記載したいと考えております。

5 番目ですけれども、赤字で追加をしております。前回の審議会で策定方針を説明させていただきましたけれども、そちらの中で今回の総合振興計画は総合戦略と合わせて作っていきたいとお示しをさせていただいております。総合戦略策定につきましては前段で人口ビジョンということで人口の推計等を示すことになっておりますので、こちらのほうで人口ビジョンを盛り込んでいきたいと思っております。

続きまして6番目に、今国連のほうで定めておりますSDGs、17のゴールが全国的に取組が進むようになっておりますけれども、こちらの達成に向けた浜田市の取組について記載をしていきたいと考えております。

続きまして基本構想でございます。基本構想につきましては策定方針でもお話ししましたとおり基本的には内容を引き継ぐこと、そのまま載せていくものと考えております。ただ基本指標にある人口や出生数、社会増減数につきましては、人口ビジョンの見直しも含めまして目標値を変更していきたいと考えております。

続きまして裏面をご覧いただきたいと思っております。

基本計画の部分になります。この度はここが大きな変更となります。第1節概要につきましては計画期間が4年間ということで書いてあります。

続きまして第2節でございます。まちづくりの展開ということで(2)で今までは人口減少対策プロジェクトと示させていただいておりましたが、この度は総合戦略と一体的に作るということで、総合戦略との関係をお示ししていきたくて考えております。

続きまして第3節部門別計画でございます。まちづくり大綱にある7つの大綱、各部門7つの項目に分けて作りこんでいきたくて考えております。これにつきましては2枚目をご覧ください。部門ごとに水産業の振興というような施策大綱をいくつか挙げて取組を進めることとして掲載されておりますがこちらの構成につきましては大きく変えることをせず、現状と課題、また基本方針、それに対する主要施策等をお示ししていきたくて考えております。最後には代表的な目標としてKPIを設定して各年度皆さまのほうに進捗を諮っていきたくてという流れで、作りについては大きく変更せずに進めていきたくて考えております。

それでは1枚目に戻っていただきまして、第4節ではこれまで自治区別計画として各自治区の特徴的な取組について記載をしておりましたが、自治区制度が終了したことに伴いまして地域別計画に名称を変更して各地域の特徴的な取組について記載をしていきたくて考えております。

続きまして第5節でございます。新たに追加したところになりますけれども、地域活性化に向けた中山間地域対策の推進ということで、自治区制度がなくなりました中山間地域については5年で10億円の取組を進めているところでございます。そういった取組について議会の中山間地域振興特別委員会でも総合振興計画にしっかりと明記して取組を進めていくべきではないかというお話も伺っているところでございますので第5節というところでしっかりと明記をして取り組んでいきたくてというところで追加させていただいております。

第6節につきましては開かれた行財政運営の推進ということで、前期基本計画と同様、こちらは記載をしていきたくて考えております。

第3節から第6節につきましては先ほど説明しました構成で記載をして取り組

	<p>んでいきたいと思っております。</p> <p>最後、第7節でございます。こちらは総合戦略と一体化するという事でこちらのほうで浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略を記載していきたいと思っております。記載内容といたしましては総合戦略の概要、そして浜田市の目指す長期の目標ということで、3つの目標を掲げたいと考えております。今までの総合戦略は出生数、社会増減数、人口というところで取り組んでおりましたが、先ほどの前期基本計画振り返りのところで、出生数や若い人たちの数を重点的に着目してというところでご説明をさせていただいております。そういった部分も踏まえまして目標値については出生数と若者の社会増減数を目標にあげたらどうかと考えております。それとあわせて人口ということで目標を掲げてはどうかということで今回記載させていただいております。</p> <p>最後ですけれども総合戦略につきましては基本目標を定めて取り組むこととなっております。この基本目標につきましては国、県の総合戦略に基づいて作るようになっておまして国、県の基本目標、文言の変更はありますが、趣旨等は変更なくこの4つの趣旨で取組を進めておりますので浜田市の総合戦略につきましては総合振興計画を10年間で4年後に次の基本構想を考えるということでございますのでこちらにもそれに合わせてこの4年については前回の総合戦略を引き継いでこの基本目標4つで取り組ませていただけたらということで構成(案)として示させていただいております。ご意見等いただけたらと思いますのでよろしくお願い申し上げます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。委員の皆様からご質問、ご意見がありましたらお願いします。</p>
中島委員	<p>今日は構成(案)ということなので、ここで聞いてはいけないと思うのですが、資料2の裏側の第7節、今度出生数と若者の社会増減数を入れるということですが、若者の定義、年齢は何歳を考えておられますか。</p>
政策企画課長	<p>若者の社会増減数の若者の定義というところでございます。若者の定義につきましては基本的に何歳から何歳までという決まりはございません。国においても厚生労働省あるいは国土交通省が使っている若者でありまして若者の年齢の幅はそれぞれ違っております。そうしたことで今後浜田市も人口推計などを作っていくなかで、今あえて若者という言い方をさせていただいておりますけれども、15歳から39歳がいいのか、あるいは20歳から49歳までがいいのか、そうしたところは今後議論させていただいてまたそのことを委員の皆様には意見をいただいたなかで決めていきたいというふうに考えております。ただ概ねこれまで、浜田市総合振興計画を打ち出してきたなかでは若者を大体20歳から39歳までといったところでどうかと考えているところです。</p>
会長	<p>その他、細かなことでも結構です。</p>
石田委員	<p>基本計画のほうで、今年になって協働のまちづくり推進条例とまちづくりセンター条例の2本が施行になっていますが、協働のまちづくり推進条例の関係が4節と5節に入っているということを理解しておりますが、4節の自治区という表現が地域に置き換わるだけなのか、それともそれぞれ計画がありますがなんらかの変化があるのか。例えば一体的まちづくりという概念がありますがその辺りで5地区共通のなんらかのものを新しく設けるのか、その辺がもしお考えがあれば伺いたいのと、まちづくりセンター条例の施行についてこの基本計画でなんらかの影響がある場所があるのかありましたら教えてください。以上です。</p>

政策企画課長	<p>まず第4節の地域別計画のところ、この度自治区制度廃止といったところから地域別で残していくといったところの内容等を踏まえましてこれから進めさせていただきます協働のまちづくり推進条例、そうしたなかでの取組、課題等も含めまして、これまでのそれぞれ自治区別で行う計画としていた自治区別の計画の中身と、市全体の事業、そうしたものと一本化、そういったものをどうやって計画の中で示していくかということにつきましては現在議論しているところでございます。次回以降、現状と課題の下の主要施策、あるいは代表的な目標を議論させていただいたものをお示しさせていただく予定としております。その中でそうした点がどうなっているかといったことも踏まえて内容をお示ししていくなかで、ご意見を伺っていきたくと思います。またまちづくりセンターの関係につきましても、構成（案）の中でははっきりと示させていただいておりませんが、例えば部門別の地域振興部門、あるいは教育文化部門に関わってくるものであろうかと思っておりますのでその中で取組等を示していきたいということになるかとも思っております。また第4節のところでも地域別の個性を活かしたまちづくり、そういったところでも内容が関わってくると思いますのでそうしたところも踏まえた内容を今後示させていただきたいと考えております。また全体的な前期の振り返りあるいは今後の総合振興計画全体の方針、そうした中でも当然協働のまちづくり推進条例、あるいはまちづくりセンターが基本になっているといった点も記載等させていただく必要があるかと考えております。</p>
会長	<p>関連してでもその他の観点でもよろしいので委員の皆様から何かございませんか。</p>
樫山委員	<p>前期基本計画の振り返りのところに、ここではいわゆる人口関係のことしか書いてないですけれどもどこまでの範囲で振り返りを考えられているのでしょうか。いわゆる個々の項目について全部振り返るとなると大変なんだろうけれども、どこまでかを聞かせていただければと。</p>
政策企画課長	<p>前期の振り返りどこまでかということでございます。今回後期基本計画の策定に当たりましては、前期が今年度までの計画期間となっておりますがその全てを反映したものを前期の振り返りということは策定をする段階で難しいと思っておりますので、基本的には先ほど皆さんにご意見等いただいております毎年行っております進捗状況その辺を踏まえて最後に毎年総括的なことでまとめをさせていただいております。そうしたことを踏まえて振り返りという形で、この前期基本計画の振り返りといったところをまとめていきたいと思っております。その中で具体的に個別の計画がどうだったかと一つ一つ載せていくのは当然難しいと思っておりますので先に言いましたように全体的な項目の達成率、あるいは進捗評価の状況等をまとめさせていただいたものから、今例えばここに示させていただいておりますように人口減少をなかなか歯止めがかけられなかったところが課題であるといったようなまとめ方といったところでしていけたらいいかなと事務局のほうで考えております。</p>
会長	<p>振り返りの仕方はこれから工夫を凝らしていくと思いますが、ひょっとしたら例えばまちづくり大綱ごとの記載も可能性としてあるのかなと思われましたのでコメントをさせていただきます。</p> <p>その他ございませんか。</p>
岡山委員	<p>基本構想の序論の中にSDGsの達成に向けた取組という項目があるんですけれども、SDGsは物凄く幅があるのでここだけで書けるものなのかなってちょっと思</p>

	<p>ったのとあまりにもカバーしているエリアが広すぎると何をどう取り組んでいくのがちょっとわかりにくいかなと私は思ったので、大綱のところにはここではSDGs的な取組はこうしていきますと書いたほうが各々の取組がわかりやすいのと振り返りがしやすいかなと思ったので、気づいたことを言わせてもらいました。</p>
政策企画課長	<p>たしかに SDGs、一番基本となる 17 の目標をこの総合振興計画に振り分けしていくに当たりましては内容自体が幅広いことから、どこに当たるかと言った点につきましては、今この計画には 17 の目標でアイコンというかマークを定められておりますそれを関わるものについては、例えばこの先ほど見ていただいた部門別のそれぞれ頁の中でもしかしたらそういったマークが 2 つ入るかもしれません、3 つ入るかもしれません。そういったようなことでこのまちづくりの大綱の中では SDGs がそういった 17 項目の何個かが関わってますよというような示し方等をしていきたいと思っております。ただ本日の資料でイメージ等出していなかったところにつきましては大変申し訳ございません。</p>
会長	<p>SDGs はすみません、恥ずかしながら私は勉強不足なところがあるんですけどアイコンをつければそれでよいというものではないと思いますので、そこは工夫をして記述をしていただければというところです。</p> <p>その他ございませんか。</p> <p>資料 1 の中でも進捗が芳しくない部分は見直したほうが良いというようなご意見があったかと思えますけれども、ちょっと私の確認になります、主要施策の入れ替えみたいなことは考えておられるかどうか確認をさせていただければと思います。</p>
政策企画課長	<p>主要施策の項目についてですが先ほどの資料 2 の 1 枚目の部門別計画の中身の資料を見ていただきますと、今水産業の振興ということでその中で主要施策で地元漁船の存続や担い手確保対策というような記述が計画書のほうでされております。基本的にはこの主要施策の項目というのは今の前期基本計画を基本としてやっていきたいと思っております。これがごっそり変わると前期基本計画との比較といったところも必要じゃないかということで、基本的には主要施策は前期基本計画を踏襲して作ってきたいと考えておりますが当然今ある主要施策の中で必要でない、あるいは統合したほうが良いというようなものも出てくるのではないかと思いますので全てこのとおりにしますということで固めているものではないと思いますが、基本的には前期基本計画で定められているこの項目というものを基本に進めていきたいと考えております。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>主要施策は基本的には維持をし、その中で取り上げられる事業・取組についてはもしかしたら入れ替えもあるかもしれないと思いますが、その他いかがでしょうか。</p>
石田委員	<p>最後に資料 2 の 2 枚目がついておりますが、部門別というところでございます、今日も質問に対して浜田市の考え方を説明していただきましたが、実は前の審議会のほうでも同じことがありまして、その時に出た意見なんです、例えば水産業の振興というのがあります。産業別部門では水産業の振興と農林業の振興など型どおりのことが書いてあるのですが、これがサブタイトルをいれてもっとわかりやすくないだろうかという意見がありました。例えば水産業の振興は水産浜田の活気を取り戻すとか、農林業の振興は持続可能な農業で自然環境を守るとか、商工業の振興は企業の新たな挑戦を支援しますとか、観光・交流の推進</p>

	<p>はようこそ浜田運動とか、企業立地による雇用の推進は浜田で働こうというのはどうだろうかという意見もあったのですがこのサブタイトルということについては、その時の回答では後期基本計画ではサブタイトルの記載などを含めて記載方法については検討させていただきますという回答があったのですが、これは大筋で変わる話ではないので読みやすさをどうするかということですがその辺りをどう考えておられるのか伺いたいと思います。</p>
政策企画課長	<p>先ほどいただいた石田委員さんからの発言につきましては、昨年度の総合振興計画審議会で進捗状況を皆さんにお示しさせていただいた中の意見をまとめさせていただいた中におっしゃられる意見があったかと承知しております。当然先ほど言いましたように基本的には前期の項目の名称というものを基本として進めていきたいと考えておりますが先ほどありましたような意見もございますので統合等整理したほうがいいのか、あるいは名称等も含めてこのままでいいのかといったところは当然検討していきたいと考えております。</p>
会長	<p>ただいまのご意見はわかりやすい計画を市民に提供するという意見ですので、ぜひご検討いただければと思います。</p> <p>他にございませんか。</p> <p>(なし)</p>
会長	<p>そうしますと議事は先に進めさせていただきます。</p>
(3) 人口推計について	
会長	<p>(3) 人口推計についてということで事務局から説明をお願いします。</p>
政策企画課長 資料3説明	<p>浜田市の人口推計についてということで資料3の1枚紙のものをご覧いただければと思います。</p> <p>先ほど資料2の構成(案)のところで説明等をさせていただきましたが、総合振興計画の中で人口ビジョンを示すなかでこれまでの人口動態あるいは今後の人口がどうなるのかといったところ、あるいはどういった人口の目標として計画を作っていくかというところを数字を今後固めていかなければならないといったところで現在直近のできる範囲のところで浜田市の人口推計がどうなるのかといったものをこの資料の中でまとめましたので説明のほうをさせていただきたいと思っております。</p> <p>まずIの前回策定時人口推計と現在の推計の比較といったところでございます。今の総合戦略あるいは総合振興計画のところで示させていただいている数字、あるいは人口推計についてをこの表の中にあります策定時といったところの数字を活用させていただいているところです。それが現状というところでございまして国勢調査の人口でいきますと約58,000人から約54,000人の人口になっている、あるいは出生数については年間442人が年間296人の出生数になっている、あるいは社会増減数については年間マイナス319人だったものがこの直近では年間マイナス170人になっているといったところの現状がございまして。その隣には前期基本計画の目標値として数字を示させていただいておりますけれども、今の計画では2025年では人口は52,000人、あるいは出生数は年間400人を目指す、社会増減数は年間マイナス200人までに抑えるといったところで人口の推計等させていただいたものを掲載しているところでございまして。その下に現状、あるいは策定時の数字がどうなっているかといった点を踏まえまして第1回の審議会の中でここ5年の人口動態といったもののご説明等をさせていただいております。その人口、出生数、社会増減数を改めて毎年のその増減がどうであったかとい</p>

たものを表にしております。

人口につきましては表に示しているとおりの年間 800 人近く減ってきているという状況です。国調人口についても 2015 年度には 58,105 人であったものが 2020 年度、これはまだ国の速報値で確定値ではございませんが、今 54,622 人といったところの数字が示されているところです。

またその下出生数につきましては、途中でプラス 4 人といったところで増えていた年もございますけれども、前年と比較してここ数年は大きく出生数が減少をしているということで傾向的には今後も出生数については減っていくといった点について厳しく見ていかななくてはいけないのではないかとといった点、社会増減の推移につきましては年間マイナス 200 人を 2025 年のところで目指すということで計画は示しておりますけれども、表のほうをご覧くださいになってわかるように一時マイナス 351 人と前年と比較して大きく減ったといった状況もございますが、ここ数年でいきますと前年度数値よりも数値は改善してきているといった社会増減の状況も見られるということでございます。ただ社会増減につきましては昨年度の数字は新型コロナウイルスの状況等もあって移動等が控えられているといった点もありますので、たしかにマイナス 170 人ということで大きく改善しているように見えますが今後のコロナの影響がどう出るかといったところを非常に危惧しております。

裏面をご覧くださいと思います。これまでの人口の動態については先ほどの資料の状況といったところでございますが、そうした点等を踏まえて今後人口推計、どのような数字を示していくかといったところにつきまして、直近のこちらのほうで計算できる数値等を用いて、4 パターンほどこういった設定をして人口推計等をグラフで示させていただきました。まず前提条件といったところで前回の浜田市の推計といったところで、現在の総合戦略の推計を直近の数字に当てはめたものをパターン 1 として示させていただいております。その内容としましては合計特殊出生率、これは一生涯に 1 人の女性が生む子どもの数を示す数値でございます。それを 2040 年までに 2.17 まで段階的に上昇させる、転入転出などの社会移動を 2040 年までに段階的に縮小させ、2045 年以降は社会移動なし、つまりプラスマイナスゼロにしていくというのが今の総合戦略の推計となっておりますので、まずは総合戦略の数値を当てはめてみたものが 1 番目でございます。続いて社人研準拠と書いております。その表の下の※印で書いております社人研というものにつきましては、国立社会保障・人口問題研究所といったところが国、県あるいは各自治体の人口、そうしたものを調査・研究して推計等を示しております。どこの自治体も人口推計等をいろいろ計算する場合、この社人研が推計している数値を用いて推計等をされることが多いので浜田市もこの社人研が作った人口推計を基に示させていただいているところがございます。その社人研が示しました数字というものがどういうものになっているかといったところにつきまして 2 番目の人口推計の数値として示させていただいております。この社人研につきましては合計特殊出生率、今社人研では 1.7 といったところの数字を使われておりますけど、その数字はほぼ横ばいで推移し社会移動につきましては 2045 年まで段階的に縮小させる、そして 2045 年以降の移動率といったこれまでの段階的に縮小した移動をそのまま同じ数字を継続して用いていくといったような形で推計をされています。そういった形で推計されたものがこういうグラフを示すといった点、続いてそういった社人研等の推計を基に浜田市で独自に設定した数字を掲載してみました。シミュレーション 1 につきましては合計特殊出生率を 2045 年に

	<p>2.07 まで段階的に上昇させて、社会移動につきましては先ほど申しました社人研が使われている社会移動の移動率をそのまま使わせていただくことで推計をしております。この中で 2045 年に 2.07 まで段階的に合計特殊出生率を上昇させていくといった 2.07 については、島根県のほうが総合戦略の中で示しておられる合計特殊出生率を使わせていただいたということです。シミュレーション 2 につきましては同様に合計特殊出生率を 2045 年に 2.07 まで段階的に上昇させるんですが社会移動につきましては 1 番目にご説明しました今の浜田市の総合戦略で使っております社会移動、2040 年までに段階的に縮小させ、2045 年以降は社会移動なし、つまりプラスマイナスゼロにするといったところで推計してみてもどうかというところで数値を計算したものです。そうした前提条件 4 つを推計してみたところ、真ん中のグラフにありますように社人研の推計でいきますとほぼ 40 年後の 2060 年には赤いグラフになりますが 32,440 人、あるいは今の浜田市の総合戦略の数値を用いてみた場合は青いグラフになりますが 37,619 人、ただ昨今の出生数や若い人の減少数を考えてシミュレーション 1、2 といったところで少し厳しめにしながら、社人研が推計するよりは目標設定等を行って人口を維持していく必要があるのではないかとといったところでシミュレーション 1、2 を示させていただくと 36,536 人あるいは 33,507 人といったところまで抑えられるのではないかとといったところで推計のほうを示させていただいたところです。そうした前提条件を基にそれ以下のところにつきましては 5 年ごとの数字ではございますが人口、あるいは参考として 5 年平均での出生数、それと 1 番下に特に 20 から 39 歳までの女性といったところについてはどのような数字になるかとといったところを推計の参考として示させていただいております。なお 2020 年のところでシミュレーション 1、2、赤く塗りつぶされておりますけれどもこの数字についてはこの 5 年間、出生数の平均の数、あるいは女性の数といったものを用いさせていただいております。出生数につきましては 300 人をきったという数字になっておりますので 5 年平均 360 人で見るとすこし過大な数字ではないかというご意見もあろうかと思えます。そうした点等も踏まえまして、今後さらに先ほど申しました人口、どのような数字を設定していくかというところはまた事務局のほうでも内容をまとめさせていただいて次回以降のところでご意見を伺っていきたいと考えております。以上でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>ただいまのご説明に対して何かご質問、あるいはご意見がございましたらどうぞご発言ください。</p>
<p>宮本委員</p>	<p>出生数の推移の件なんですけど、人口の中で目標値が 400 ということで目標値が高いのはすごくいいことだとは思いますが、やはりそういう施策だとかというのはどういう考えを持っておられるのかということをお聞きしたいと思っております。それで今のシミュレーション 1、2 のところでもなにかこの 360 からということもわかりにくいところがあるのでもう 1 回説明をお願いできたらと思っております。</p>
<p>政策企画課長</p>	<p>まず 1 点、出生数が 400 人という目標をこれまで掲げて説明させていただいておりました。その中で先ほど申しましたように 300 人を切るといったところで直近のところの出生数の数字になっております。そうしたことからそういった出生数を増加に向けた取組が必要だろうということで今年 3 月に議会等でも示させていただきましたけれども総合戦略プラスということで特に出生数を増やす取組として例えば子どもを生んでいただくためにまずは出会いがあって結婚していただ</p>

	<p>く、そして子どもを生んでいただいて子育てをしていく、そうしたところを一括で取組につなげていきたい、トータルで応援していく応援プログラムというような形で戦略プラスというものを示させていただきました。その中で結婚された方へのお祝い金といったような形でありますとか、子どもを生んでいただいた方への出生祝い金といったようなことでの補助とかそういった支援メニュー等も示させていただいて現在取組をさせていただいております。その戦略プラスにつきましては後期基本計画の中でも引き続き取り入れてやっていくといった考えでおりますが、当然今示させていただいている支援だけで出生数がすごく増えていくといったことにつながるとは思っておりませんので、さらに後期基本計画をまとめていくなかではもっともっと効果的な事業、こういったものを作っていったらいいかということも検討していかなくてはならないと考えております。</p> <p>それと先ほどの資料3のシミュレーション1,2の360という数字について分かりにくいといった点でございます。大変失礼いたしました。出生数につきましては資料3の表面に2015年度から2020年度までの出生数を示させていただいております。この数字の近5年平均すると出生数が360になるということで出生数を360ということでこのピンク色で示させていただいております。これにつきましても今のこの人口推計を作るにあたりましては国勢調査の数字を基本としております。国勢調査については5年に1度の調査ということでこのあたりの数字も5年に1度数値が出てくるといったことから毎年の出生数というのがこの計画の中で事実上反映されていかないということがありますので5年平均、5年ごとの数字をつくるのに先ほども申しました浜田市の5年の平均の出生数をすこし5年に合わせて用いさせていただいたということで360という数字を使わせていただいております。以上でございます。</p>
会長	その他ございませんか。
樋山委員	5年ごとという話はあるんですが、いわゆる実際問題として2018年、2019年、2020年、これは浜田市の合計特殊出生率というのはわかりますか。
政策企画課長	合計特殊出生率につきましては資料3の裏面の合計特殊出生率の推移を示させていただいている下に※印でつけさせていただいております。合計特殊出生率につきましては国のほうが合計特殊出生率を示されます。それが今直近でいきますと平成25年から平成29年の5年平均の合計特殊出生率というものが示されております。それがこの表のピンク色で示させていただいている1.77という数字が浜田市の合計特殊出生率ということでさせていただいております。
樋山委員	5年ごとの平均はわかるんですけども、実際にそれぞれ単年度、4月から3月の浜田市の合計特殊出生率はわかりますか。
政策企画課長	これは毎年の数字を把握しておりません。そもそも合計特殊出生率を出す計算が浜田市の合計特殊出生率を使う、例えば女性の数という分母が非常に小さいこともありまして分母が少し動くだけで数字が大きく変わることがありますので、基本的に各市町村で合計特殊出生率を出すのは、それがあてになる数字かどうか指標として難しいということもありますので、計算上できないことはありませんがこの数字がある意味ひとり歩きするのは非常にどうかといったこともありますので事実上国が発表した5年平均のものを使わせていただいて各年度のものはこちらのほうでは計算していないという状況にしております。
樋山委員	ただ、この近年出生数そのものが急激に落ち込んでいますのでこういう数字を見ると本当に5年ごとの平均という考え方が正しいかどうか、それがちょっと心

	配だなと思って聞いたものです。
政策企画課長	おっしゃられるとおり、国勢調査等を基に5年平均でさせていただくと、各年度毎年、進捗管理していくには状況を把握しにくいといったこともございまして資料2の前期の振り返りの中でも示させていただいておりますけれども、5年ごとでそういったものを把握するのではなく毎年出生数を把握しながらどうしていったらいいかという対策を考えていったほうがいいのではないかとしたこと後期基本計画の中ではそういった方向で推計値等を作らせていただければと考えております。
樫山委員	ありがとうございました。
会長	<p>樫山委員のご意見ももつともな部分があつて、ちょっと素人考えなので的はずれかもしれませんが、移動で5年平均を見るとかちょっと工夫をしていただければと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>その他ございませんか。</p> <p>後期基本計画の中の人口ビジョンになっていくところかと思しますので委員の皆様のご意見伺えればと思いますが他ございませんか。</p> <p>(なし)</p> <p>そうしましたら、またお気づきの点がありましたら後ほどでもお知らせいただければと思います。</p> <p>今後は浜田市としてどのような推計を使って計画を策定していくか検討されていくかと思しますので、これは次回入れてくるような感じですか。</p>
政策企画課長	先ほどお示しました人口推計につきましては改めて毎年の数字が追えるような数値等を検討しているところでございます。次回のところでそういったなんらかの推計の形をお示しさせていただいて、ご意見を伺いたいと考えております。
会長	はい、ありがとうございました。
2 説明事項	
(1) 総合振興計画後期基本計画に係る「現状と課題」について	
会長	そうしますと次第では説明事項になりますかね。第2次総合振興計画後期基本計画に係る「現状と課題」についてということで事務局から説明をいただければと思います。
企画係長 資料4説明	後期基本計画現状と課題について私のほうから説明をさせていただきます。こちらにつきましては先ほど構成(案)のほうで示させていただきました、施策大綱ごとの構成を説明させていただきましたが、そちら部門別地域別の現状と課題の部分について作りこんだものになります。策定にあたりましては各担当部署におきまして、関係団体のほうにヒアリング等実施させていただいて情報等聞きながら作ったものになります。見方といたしましては資料4の1ページをご覧いただきたいと思ひます。現状と課題ということでこうして書いてあるものがこの度作りこませていただいた案ということになります。2ページを開いていただきますと赤字で現状と課題と書いてありますが、こちらは前期基本計画で記載している現状と課題となっておりますので、どのように変わったかというのを見比べながら、後ほど見ていただければと思います。これに対しますご意見につきましては、本日お配りしている資料の最後に様式をつけさせていただいております現状と課題に対する意見ということで様式を作っております。こちらのほうは来週の木曜日までにご提出をいただければと思いますのでよろしく願いいたします。提出の際には委員さんのお名前と何部門の何頁に対するご意見かということがわかるよ

うに記載いただくと大変喜ぶますのでよろしくお願ひいたします。

そういったことから本日はこの内容について趣旨ですとか新たな取組、現状と課題の記載内容、こちらのご説明だけにとどめさせていただいて、ご意見等につきましては事前にいただいた内容を含め、次回の審議会のほうでさせていただければと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

それでは内容について重点的などころを説明させていただければと思ひます。また1頁をご覧いただければと思ひます。まず産業経済部門になります。施策大綱の水産業の振興に関する現状と課題ですけれども、こちらにつきましては地元沖合底引き網漁船団1ヶ統が廃業、水揚量の更なる減少が危惧されているということ、漁業就業者の高齢化や後継者不足によって厳しい状況が続いているということも記載させていただいております。

続きまして3頁です。農林業の振興についてでございます。農業につきましては荒廃農地(耕作放棄地)が拡大する傾向にあるということ、また担い手不足等により組織の弱体化や産地維持が難しくなっている、また更なる担い手の育成や担い手への農地集積・集約する取組が必要ということで記載しております。林業につきましては、森林所有者の高齢化により放置された森林が増えること、そういったことで循環型林業を展開するため森林管理者の明確化による適切な森林整備と伐採後の再造林を進めていく必要があるということで記載しております。

続きまして5頁でございます。商工業の振興につきましては、情報発信や新事業展開への支援が求められるということやアフターコロナを見据えた取組が必要と、またふるさと寄付についてもその使い道のアピールや浜田市の魅力特産品のPRの推進というところが求められているということでもまとめさせていただいております。

続きまして8頁をご覧いただきたいと思ひます。国際貿易港浜田港などの港湾を活用した産業振興ということでございます。こちらにつきましては国際定期コンテナ航路の取扱貨物量は確実に増加しているという現状があります。大型船舶に対応した係留機能の強化や、荷捌き用地の確保・保管機能の充実、またコロナ禍における海上運賃の高騰、またクルーズ船受入等の対応に取り組んでいく必要があるということでもまとめております。

続きまして10頁をご覧いただきたいと思ひます。観光と交流の推進でございます。新型コロナウイルスの影響によりまして甚大な影響のあった令和2年以前は横ばいの傾向にありましたが、本市の観光入込客数延べ数は近年減少傾向にあるということ、特に石見地域、隠岐地域はともに減少傾向であることが書いてあります。また観光客のニーズも多様化しており市民や民間企業など様々な主体が連携しお互いがレベルアップしていく必要があるということ、またSNSなどの効果的な情報伝達ツールの活用またタイムリーな情報発信による情報発信力の強化が必要ということでまとめさせていただいております。

続きまして12頁です。企業立地による雇用推進ということで、有効求人倍率は近年1.5倍を超えているということ、ただ雇用のミスマッチを解消する必要があるということを書かせていただいております。また新型コロナウイルス感染症の影響でテレワークなど新しいワークスタイルの定着が予想されておりますので、サテライトオフィスの誘致などが求められているということでもまとめられております。

続きまして13頁です。健康福祉部門になります。医療体制の充実につきましては全国的にも医師の増加が図れてきておりますが医師の地域偏在や診療所偏在と

いった課題は依然としてのこっているということで挙げさせていただいております。

続きまして 14 頁です。健康づくりの推進の取組でございます。がん年齢調整死亡率の記載をさせていただいていることと、新型コロナウイルスの感染症により体力低下やうつなどの心の健康面への影響が心配されているということで記載しております。

15 頁です。子どもを安心して産み育てる環境づくりということで子育てと仕事を両立できる環境の整備が重要ということ、出産を希望する世帯への支援やもう一人産み育てたいと思えるような環境づくりが重要となっている、また積極的な情報発信、情報提供やいつでも相談できる場が必要とされているということ、最後には行政内の各部局が連携し幅広い視野で様々な立場から総合的に子育て支援を考えることが求められているということでまとめさせていただいております。

続きまして 16 頁、高齢者福祉の充実ということで、在宅での療養が難しい高齢者や専門的な介護を必要とする高齢者への対応を記載しております。また在宅医療・介護の連携強化及び認知症になっても暮らしやすい地域づくりの推進が求められているということを記載しております。

続きまして 17 頁です。障がい者福祉の充実では新たに設置いたしました「浜田市基幹相談支援センター」を中心としまして、相談支援体制のより一層の充実を進めていきたいと記載しております。

続きまして同じく 17 頁の下にあります地域福祉の推進でございます。地域や家族の繋がりが希薄になりつつあるということ、そういったことも含め地域で支え合う体制の構築が求められているということ、生活課題は分野を超えた支援関係機関の連携が必要となっているということを記載しております。

続きまして教育文化部門、19 頁になります。学校教育の充実につきましては多様な人々と協働しながら持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが重要ということ、また教育施設の計画的な整備・改修について検討する必要があることを記載しております。また GIGA スクール構想によって ICT 機器を活用するなど、個別最適化された指導を推進していくことも必要ということで記載させていただいております。

続きまして 20 頁です。家庭教育支援の充実ということで、地域ぐるみで子どもも大人も成長できる取組を推進する必要があるということ、また青少年自立支援事業として専門職員の配置や一人一人に応じた支援に努める必要があるということに記載しております。

続きまして 21 頁です。社会教育の充実というところでは、学校におきましては「社会に開かれた教育課程」の実現が求められているということ、また公民館がまちづくりセンターになり、まちづくり活動団体と連携し、学びから実践までつなげる取組が必要ということに記載しております。

続きまして 22 頁の生涯スポーツの振興につきましては、令和 12 (2030) 年に島根県において第 84 回国民スポーツ大会が開催される予定であり、それに向けた取組について記載しております。

続きまして 23 頁です。歴史・文化の伝承と創造というところでは文化施設を活用した市民参加型のイベント等を実施し、文化活動の活性化と人づくりを進める必要があるということ、また伝統文化や地域の歴史文化を次世代へ継承していく必要があるということ、そして歴史・文化に親しめる環境整備と人づくりを推進する必要があるということに記載しております。

続きまして 25 頁です。環境部門になります。特性を生かした景観形成の推進では連携と協働による景観づくりを推進する必要があるということ、また平成 29 年に策定いたしました浜田市景観計画に基づきまして、良好な景観保全に努めていくということに記載しております。

続きまして 26 頁です。環境保全と快適な住環境づくりの推進ということで市民一人一人が環境保全・美化に対する意識を高め、様々な主体との協働した取組が求められていることを記載しております。

続きまして 27 頁、地球温暖化の推進では、国の「2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」宣言を踏まえまして、国・県と強調した取組が求められているということを追加して記載しております。

続きまして 28 頁です。循環型社会の構築ということで、ごみの区分について変更しております、これにより被覆型埋立処分場は約 36 年間の延命をすることができたということ、また不法投棄が後を絶たない状況にあるということから環境パトロールの強化や意識啓発が必要ということに記載しております。

続きまして 29 頁です。生活基盤部門になります。道路網の整備ですが令和 7 年度中に三隅益田道路が開通する予定であるということ、浜田道につきましては暫定 2 車線区間が多いところを伝えさせていただいております。国道、県道、市道や農林道については更なる防災対策と維持管理が必要ということに記載しております。

続きまして 30 頁です。公共交通の充実というところになります。高齢者の運転免許証保有率の上昇と人口減少の影響によって路線バス等の公共交通利用者は年々減少傾向にあるということ、また新型コロナウイルス感染症の影響によって利用者が大きく減少していることを記載しております。また市の生活路線バスや予約型乗合タクシーを運行し、高齢者が安心して生活できるための移動支援策に取り組んでいく必要があるということに記載しております。

続きまして 31 頁です。地域情報化の推進につきましては全市のケーブルテレビ回線を光回線に改修する高速情報通信基盤の整備を進めているということ、また国が示しております「新しい生活様式」やデジタルトランスフォーメーション等の高度情報化社会に対応した市政運営が問われているということに記載しております。

続きまして 32 頁になります。充実した都市基盤の整備というところで人口減少と高齢化が進むなか、効率的でコンパクトな都市づくりを進める必要があるということ、また浜田駅周辺や浜田市役所周辺の状況について記載しております。

続きまして 33 頁です。快適な生活基盤の整備ということで水道事業の状況を記載させていただいております。また市営住宅につきましては市営住宅の位置づけを整理いたしまして民間の賃貸住宅や空き家も含めましてその活用を検討していく必要があるということ、また地籍調査事業につきましては進捗率が 44%となっており早期の実施が必要ということに記載しております。

続きまして 35 頁です。防災・防犯・消防部門になります。災害に強いまちづくりの推進ということで国土強靱化に向けた一層の取組が必要ということ、また災害時の安全な避難所の設置や地域住民と連携した避難所運営に関する内容が主に追加されております。

続きまして 36 頁です。地域防犯力の強化・交通安全対策の推進ということで架空料金請求詐欺の発生が後を絶たないということに記載しております。また高齢者の交通事故が大きな社会問題となっているところを記載させていただいており

ます。

続きまして 37 頁です。消防・救急体制の充実では救急需要は増加に歯止めがかかった状態ですが、今後も急激な減少傾向とはならず横ばいで推移することが予想されるということで体制を構築する必要があるということで記載しております。

続きまして 39 頁です。地域振興部門になります。地域コミュニティの形成につきましては、本市では今年の 4 月 1 日に「浜田市協働のまちづくり推進条例」を施行し、「協働のまちづくり」を推進しているということ、またまちづくりセンターでは社会教育・生涯学習の推進に加え、まちづくり活動の拠点として取り組んでいくということを記載しております。

続きまして 41 頁の人がつながる定住環境づくりの推進のところでは、少子化の要因の一つに晩婚化・未婚化が挙げられることを追加しております。また関係人口との連携についても追加で記載しております。

続きまして 42 頁です。大学等高等教育機関と連携した地域づくりでは今年の 3 月に地域政策学部と国際関係学部が新たに県大で改編しております。大学との共同研究に取り組むとともに、附属機関の委員等を委嘱させていただいているということ、また学生と市民が連携したまちづくりを推進するために交流事業の支援に取り組んでいるところを記載しております。

続きまして 43 頁です。人権を尊重するまちづくりの推進ということで社会経済情勢や時代の変化のなかで人権問題も発生しているということ、また学校、家庭、地域などあらゆる場において人権教育・啓発を行っていくことが必要というところを記載しております。

続きまして 46 頁です。男女共同参画社会の推進ということで性別による固定的な役割分担はなくなりつつある、そんななかで家事、育児など家庭における役割を実際に担う女性比率は高い、加えて地域活動等の場における意思決定への女性の参画率は低いところを記載させていただいております。性別に関する思い込みや決めつけを解消していく取組が重要ということを記載しております。

45 頁からは地域別の現状と課題になります。45 頁は浜田地域になります。産業のところになりますが、山陰浜田公設市場「はまだお魚市場」がオープンしております。また、高度衛生管理型荷さばき所の整備が進んでいるということ、また中心市街地において以前のような賑わいがなくなっており、浜田駅周辺の状況について記載しております。地域づくりにおいては地域における自治機能を維持し地域課題に対応できる地域コミュニティの体制づくりを進める必要があることを記載しております。

47 頁です。金城地域になります。産業につきましては新開団地と元谷団地の開発により、農産物の生産拡大を進めていっているところ、そんななか、担い手の高齢化や耕作放棄等による荒廃農地の拡大に歯止めがかからず課題となっているところを記載しております。地域づくりでは人口減少、高齢化が進む地域社会において通院・買い物といった移動手段の不安や防災面の不安等が顕在化しているところを記載しております。

48 頁、旭地域におきましては地域での暮らしを守り維持していくために、地区単位での農地保全の推進が必要ということでまとめております。地域づくりでは高齢者の移動手段の確保、地域課題の解決に向けた持続可能な活動が実施できるような取組が必要ということで記載しております。

続いて 51 頁の弥栄地域になります。産業では農業におきまして作業の効率化・

	<p>省力化を図るとともに持続可能な農業が実践できる組織体制の構築が求められていること、また豊かな自然環境や生活文化を活かした関係人口を増やす取組も求められているということも記載しております。地域づくりのほうでは令和3年度に弥栄地域内のまちづくり推進委員会を一本化しており、地域としての一体的な取組を推進する仕組みを構築したということで記載しております。</p> <p>53頁、三隅地域でございますが、産業につきましては石州半紙や西条柿等について記載をさせていただいております。地域づくりにつきましてはまちづくり推進委員会と共に各地区が抱える課題解決に向けて取り組んでおるところを記載しております。</p> <p>以上が浜田市のほうでヒアリング等を踏まえまして作成した後期基本計画に向けた現状と課題の素案になっております。事前にご意見等まとめていただいて事務局のほうへ提出いただければと思いますのでよろしく願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>現状と課題についての意見という用紙をご準備いただいておりますので、現状と課題については事前にご意見を頂戴して第3回の審議会のところでご意見を伺いたいということですが、特に進め方を中心に何かこの場で全体的なことで確認なされたいことがあればどうぞご発言ください。</p> <p>些末なことですが、現状と課題がグラフも入っておりましてかなりボリュームがありますがこのまま盛り込まれていくのかなというところを気にはしていますけどいかがですか。かなりのボリュームになるのではないかと推察するんですけど。</p>
政策企画課長	<p>今お示しさせていただいた現状と課題の中にグラフ等、お示しさせていただいております。一応、現状と課題の中で伝えさせていただいているところは状況がわかるようにということでグラフのほうを示させていただいております。実際に計画書をまとめさせていただく段階におきましてはこういったグラフをある程度部門ごとに頁をまとめていくなかで冊子を作っていくと思っておりますので場合によってはグラフを割愛させていただくといったこともあるかもしれませんし、さらに現状に近いところでの数字が今後出てきた際には数字の変更等もさせていただいたなかで載せさせていただくということもあろうかと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>その他、委員の皆さんから何かありませんか。</p> <p>(なし)</p> <p>そうしますと事務局からはこれに対する意見については8月12日までをお願いしますというところで委員の皆様はよろしく願います。</p>
樋山委員	<p>ちょっと気になったのですが、弥栄のほうでガソリンスタンド、農協さんがやっているのがなくなるということで大騒ぎして市のほうからも補助金出して存続するようになったという話を聞いておりますけども、要するにエネルギーというのも生活基盤の中でも重要な点でございます、今ざっと見たけれどもエネルギーというのはカーボンニュートラルに関してしか何も書かれていないんだけれどもその点はもう少し何か考える必要があるのかなと思います。</p>
会長	<p>何か回答がありますか。</p>
市民生活部長	<p>エネルギー問題については27頁の地球温暖化対策やカーボンニュートラルが書いておりますけれどもそういった再生可能エネルギー等も導入促進に取り組み</p>

	<p>ますと書いてあるんですけれども、この中で充実をする方向で考えていきたいと思ひます。</p>
会長	<p>ちょっと持ち帰っていただいて検討いただければと思ひます。 その他ございませぬか。</p>
佐々木委員	<p>この現状と課題を基本計画の冊子から今回の後期の計画の素案を拝見して、とつても後ろ向きな単語ばかりが出てるので、実際前期で5年間こうだったよともうちょっと前向きな単語出ませぬか。一つあったのが学校給食での地産地消が県内8市の中ではトップを維持して、それだけいいことが書いてあつて、あと取り組んだことについてのいいことが全然書いてなくて、もうちょっとこう考える私たち側からしてもここがよかつたんだからもうちょっとこう取り組んだらいいのと思へる視点というものを盛り込んでいただいて、例えば一言を変えるだけで前向きになれる言葉があつたりするので、私たち考える側からも前向きになるような文章の構成の仕方ですとか、そういったことを全体的に考えていただけたらと思ひました。</p>
会長	<p>事務局から何かコメントございませぬか。 現時点で事務局の皆様にお示しできているのはこの素案だけですが考えるうえで前向きな事柄もということかと思ひますが、一方で先に議論になった前期計画の振り返りをしていかなければならぬ、それをどこに記載していくかというところがあつて、ひょつとしたら委員ご指摘のようにそれぞれの部門で主要施策のところに記載していくということもありかなと思ひますので、そこを整理をして整えていければと思ひますがいかがでしょうか。</p>
政策企画課長	<p>ありがとうございます。先ほどご意見ありましたように一旦こういった形で現状と課題ということで示させていただいております。ご意見のところまで反映できるかといったところはまた帰つて見直して考えてみたいと思ひます。会長が言われましたように前回の振り返りといった内容も関わってくる点であろうかと思つております。最初にご質問いただいたときにその内容のことも若干触れさせていただきましたが全部が全部前回の振り返りのなかで示していくというのは難しいかなと思つておりますのでどういった内容で前回の振り返りの内容を示させていただくかというところを検討させていただきたいと思ひますが、ご意見については前向きに見直し等できるものはしていければと思つております。</p>
会長	<p>恐れ入ります。次回までについては今のそのことにご意見を頂戴できればと思ひます。 その他ありませぬか。 (なし) はい、ちょっと進行がうまくいってないかもしれませんが、おそらくアンケート等が準備されていると思ひます。アンケート2つですかね、アンケートと後期基本計画(案)作成等の流れの説明をここでいれますか。お願いします。</p>
企画係長	<p>この度2つのアンケートを実施しました。アンケート2つを結果報告書という形でご提供させていただいております。今後の施策の方針等にこの内容を踏まえて盛り込んでいきたいと思つております。1つ目は「中・高生の地域や将来意識に関するアンケート」になっております。こちら前回の総合振興計画を策定する際にも同様のアンケートを実施してございまして、内容については同じもので比較ができるよつとということを実施してございまして、ただ、この度は新型コロナウイルスの感染拡大のまっ只中の5月にアンケートを実施してございまして、学生の皆</p>

	<p>さんも非常に閉塞感のある中で回答だったということでありよろしくない結果のような傾向が出ております。好きという意識や住みたいという意識は全体的な傾向としては薄くなっているのではないかなというような結果になっております。どちらにいたしましても浜田市を好きになってもらう、また住み続けたいと思っているような取組を今後続けていきたいと思っております。アンケートの詳細につきましては省略いたしますので後ほどご覧いただきたいと思っております。</p> <p>もう1つのアンケートでございます。「転出者及び転入者へのアンケート」の結果報告書ということで実施させていただいております。こちらは人口が減少する理由についてもう少し踏み込んだ理由というものがないかというところで新たにアンケートを実施したのになっております。結果としてわかったことですが、今回アンケートを答えていただいた方の大半、転出、転入する方の大半が公務員等そういう職業の方が半数だったということが1つの点、そしてもう一つわかったことは浜田市から転出される際は家族の人たちをみんな連れて転出されて、浜田市に転入される際は家族の人たちを置いて転入されるというような傾向が強く出ていたということがこのアンケートの結果としてわかったこととなっております。その理由といたしましてはアンケート結果の中で記載しておりますのでご確認をいただければと思います。アンケートについては以上でございます。</p> <p>そして最後、A4、1枚で後期基本計画作成の流れということでお示しをしております。ご覧いただければと思います。今後の作成にあたりましてどんな段階でどのようなものを皆さんにお示しさせていただいてご検討いただきたいかということを一覧にして記載させていただいたものになります。このたび8月4日の審議会では現状と課題について説明させていただき検討のほうは3回で実施するとしております。中旬にはそういった現状と課題も踏まえて基本方針や主要施策を皆様に事前配布という形でお示しをしていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思います。その内容につきましては第3回のほうで一括でご意見を伺うような形を考えております。第4回以降につきましては素案のほうを事前に配布させていただいて検討し、中間答申のほう、9月上旬にいただきましてパブコメ等を実施し最終調整を行った上で第5回のほうで答申案というものを決定いただいて最後答申をいただくというような流れになっておりますので、またこれをご確認いただいてご意見のほうを伺えたらと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。 アンケート、今後の進め方について何かご質問がありましたらどうぞ。</p>
岡山委員	<p>このアンケートの結果はホームページを見たら出てくるように今なっていますか。</p>
企画係長	<p>まだ今の段階ではホームページにアップされておられません。今お示したものでだけとなっております。</p>
岡山委員	<p>わかりました。というのが、なぜこの質問をしたかという少し前に浜田高校で生徒が地域づくりについて考える取組のなかで少し関わらせていただいたんですが、生徒たちは人口が減少している原因を知りたがってたけどどこをどう見たらそれがわかるのかわかってないのかなと思ったので、こういうアンケートが元々あるのであれば紙ベースであるんじゃなくてインターネットを使えばすぐにアクセスできるよという状態になっていると活用しやすいのかなと思ったので、</p>

	今後も続いていく取組だと思うので統計であったりとか、こういうアンケートにアクセスしやすい環境を作ってあげるといいなと思うのと、ここにあるよというのが学生たちにわかるような方法があればいいなと思いました。
政策企画課長	ありがとうございます。確かに浜田市ホームページのほうで人口の状況であるとかそういったものはデータで取り出せるようにしております。ただ今回のこういったまとめたような形ではっきりしたものというのは正直、会議等の結果の中の資料であるとかそういった形でしかお示しできていないといったこともあります。今、ホームページのそういった掲載内容も見直したほうがいいんじゃないかということで、どうやって見やすいものにするかですとか、情報が得やすいものにするかといったことを検討しております。その中でこういったものが拾っていただけるようにといったところも考えてみたいと思っています。またこのアンケート結果は中学校、高校にお願いしてアンケートをさせていただいておまして、結果については学校のほうへ返していくということにしておりますので、今後このアンケート結果等も学校へお返ししていきたいと思っています。
会長	調査の時点でどのように結果をどのように公表するかというところを回答していただいた皆さんにどのようにお伝えしているかということが影響してくるかと思いますが、可能であれば貴重な資料になりますので開示できればと思います。そこは持ち帰っていただければと思います。 その他ございませんか。 (なし) そうしますと議事はその他に進みます。
3 その他	
(1) 今後の開催日程について	
会長	事務局からお願いします。
企画係長	その他の(1)今後の開催日程ということでご説明させていただきます。先ほど後期基本計画の作成の流れでもありましたが第3回につきましては8月27日(金)18時30分から開催を予定しております。場所については調整中ですので、また案内文を送りますのでそちらでご確認のうえ、間違いのないようにお越しいただけたらと思っております。続きまして第4回も予定をさせていただいております。9月9日(木)の18時30分から、浜田市総合福祉センターでできればと考えておりますので、ご出席のほうよろしく願いいたします。 (委員報酬等支払いについてのお知らせ)
会長	ありがとうございます。審議会の人数が多いので全ての方のご都合を伺って日程決定とはいきません。勝手ながら次回は8月27日の18時30分からということにさせていただきたいと思っております。どうぞご理解いただければと思います。 なにかご質問ございましたら言ってください。 (なし) 基本構想を受けて前期計画を継承する形での後期基本計画の策定ではございますが、これを機会により良い方向に見直しができる部分は見直していくべきだと思っておりますので、委員の皆様にはぜひ積極的なご参加をお願いします。 最後になりますが、砂川副市長よりご挨拶を賜りたいと思います。
副市長	副市長の砂川でございます。本日は長時間にわたり熱心にご審議いただき誠にありがとうございました。今回、浜田市総合振興計画、これまでも申したと思

	<p>ますが、浜田市の最上位計画でございます。平成 28 年に基本構想、前期基本計画を作りまして、6 年の計画でございます、今回残り 4 年の後期基本計画を作るに当たりまして、こうして審議会委員の皆さんにご意見をいただいております。今、浜田市、平成 28 年に計画を作りましたけれども、やはり浜田市の最大の課題は人口減少と、前回構想を作ったときよりもやっぱり想定以上に人口が減っているということ、これに対してどうしていくかということが重要ではないかと思っております。そのためにも今日も委員の方からありました振り返りをしっかりとすること、それを踏まえて今後の対策、人口減少をいかに止めるかということで前期の、今日も進捗管理の様子を見ていただきましたが、それぞれある程度の評価は出ているわけですが、それが人口減少の抑制につながっていないことが大きな課題だと思っております。合計特殊出生率という数字のとらえ方もあるんですが、なかなか市として正確な数字が、リアルタイムな数字が出せないということで、出生数や若者の社会増減の数ということでよりわかりやすく把握したいと思っておりますし、先ほど施策大綱にサブタイトルを入れたらどうかというご意見もいただきました。たしかに市民の皆さんにこれを見ていただいてわかりやすい作りをするということも重要だと思っておりますので今後もいろんなご意見をいただいて、できるだけ私どもも吸収して、それを反映できるように取り組んでまいりたいと思っております。今日、現状と課題についてもご説明をいたしました。非常に短い期間ではございますが、またいろんなご意見いただけましたら参考に修正等もさせていただきたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。今日はありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。 それでは以上をもちまして第 2 回審議会を終了いたします。ありがとうございました。</p>

(午後 8 時 37 分閉会、所要時間 2 時間 7 分)